

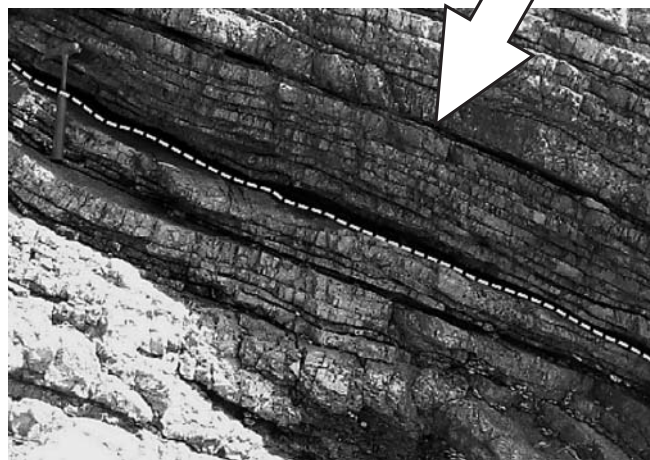
「津久見の岩石が語る 宇宙からのメッセージ」

津久見市では、1億3千万年前のものとみられる「アンモナイトの化石」が無垢島で、2億4千万年前の地球に降下した「宇宙塵(ウチュウジン)」、さらには、巨大隕石が2億1500万年前に地球に落下した証拠が日代地区で確認されています。



日代地区の「巨大隕石落下の証拠」発見場所

地層部分拡大写真



巨大隕石が地球に落下した証拠は、岐阜県坂祝町と津久見市の地層から、九州大学、熊本大学、海洋研究開発機構の研究グループにより発見されました。分析結果によると、この隕石は、最大で直径約8km、重さ5千億トンと推定される巨大なもので、地球環境の大きな変動をもたらしたと考えられます。

このたび、研究グループの一員の尾上哲治先生(熊本大学大学院自然科学研究科准教授)をお迎えし、「津久見の岩石が語る宇宙からのメッセージ」と題してご講演をいただきます。学術

的にも極めて重要な、津久見の新たな資源についてお話いただく貴重な機会です。市内中学生のみならずを対象としていますが、一般の方も入場できます。ぜひご参加ください。

- 《日 時》 平成26年1月22日(水) 14時10分開会(90分程度を予定)
- 《場 所》 津久見市民会館大ホール
- 《講 師》 熊本大学大学院自然科学研究科 准教授 尾上哲治 先生
- 《対 象》 津久見市内中学校生徒 (※一般の方も参加可。入場無料。)
- 《主 催》 津久見市教育委員会・津久見市教育研究協議会
- 《後 援》 公益財団法人 日本教育公務員弘済会大支部
- 《問い合わせ先》 津久見市教育委員会 生涯学習課 ☎82-9527